



しみじみ美味しく、心に染みる！ 「いもがらの五目煮」

今回紹介する「うまいもん」は、JAやまがた女性部・長崎支部の毛利トシ子さん（中山町長崎）がつくってくださる「いもがらの五目煮」です。このお料理は、昨年2月に開かれた「ふるさと料理コンクール」で優良賞に輝いた一品。毛利さんが同コンクールへの出品を依頼されたため、昔から食べていた「いもがらと根菜類の煮物」をベースにして、鳥肉と打ち豆を加えてアレンジしたお料理です。その味は、取材班も味見させていただきましたが、コンクールでの入賞も当然と思えるほどの美味しさ。化学調味料を使わなくても十分に美味しく、むしろ自然で優しい味わいが舌にも心にも染みる逸品です。日持ちもしますのでご飯のおかずにも便利。ぜひ皆さんも、お試しください。

材料

いもがら…20g、ごぼう…120g
ニンジン…50g、コンニャク…120g
鳥肉…120g、ねぎ…30g
打ち豆…50g
調味料類（サラダ油…大さじ1、しょう油…大さじ2、酒…大さじ1、みりん…大さじ1、砂糖…小さじ1、塩…小さじ3分の1）
水…1カップ



つくり方

- ①まず材料の下ごしらえをしておく（ごぼうはササガキにして水にさらしておく。ニンジンもササガキ。コンニャクはたたいてちぎる。いもがらは水で戻して2cmくらいの長さに切る。鳥肉も一口大に切る。ねぎは2cmくらいの斜め切りに。）
- ②鍋にごぼうとニンジンを入れ、サラダ油で炒める。
- ③水と酒、砂糖、みりん、しょう油、塩を合わせたものに鳥肉とコンニャクをあらかじめ漬けておき、それを②に加えて5～6分ほど煮る。
- ④さらにいもがらを加えて煮て、味がしみたら最後にねぎと打ち豆を加えてさっと煮る。



女性部長崎支部
毛利トシ子さん

特集 [新年号特別企画] P4~P7

新春特別対談

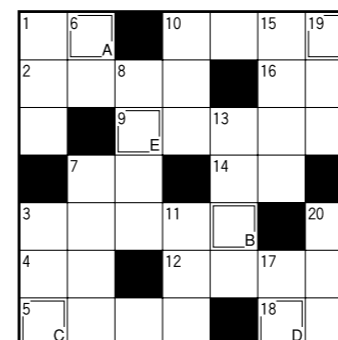
佐藤洋詩恵さん

工藤順一さん

パズル? 頭の体操

正解者には抽選でプレゼント! 詳しくはP15へ。

出題●ニコリ



タテのカギ

- 1 古墳から出土する焼き物 人や動物の形をしたものもあります
- 3 絵のこと 古典——展
- 6 こたつが大好き、上で丸くなったりします ゆっくりつかって温まりたいですね
- 7 袖のない衣服 ベストともいいます
- 10 真っ赤な色
- 11 羽毛のこと これが入ったジャケットは軽くて暖かいです
- 13 和室の居間は洋室なら——ルーム
- 15 野外で夜を明かすこと 寒いと大変です
- 17 強情な人は、つい張ってしまう
- 19 魚を捕るのに使われたりする鳥
- 20 風邪をひいたときや、花粉症のときにします

ヨコのカギ

- 1 羽子板で突くもの
- 2 タバコに含まれている物質の一つ
- 3 シベリア方面からやって来て日本に寒さをもたらします ——エビ ——神宮 ——志摩
- 5 1月1日の朝
- 7 甲が1番、コレは2番
- 9 恐竜時代、空を飛んでいました
- 10 組織、団体の中心人物 政府—— 日米——
- 12 ホーホケキョと鳴きます
- 14 釣った魚を入れるもの
- 16 派手さはなくて控えめです
- 18 回るものの中心にあります





新年のごあいさつ

山形農業協同組合
代表理事組合長 遠藤 芳雄

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新年を迎え、組合員の皆様をはじめご家族の皆様には、お健やかにお過ごしのことと拝察し、心よりお喜び申し上げます。

平成二十年の新年にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。
平日頃より、JAやまがたの事業につきましては、組合員皆様から格別のご支援、ご理解を賜っていることに対し、厚く御礼申し上げます。とりわけ金融事業におきましては県内JAでは初めてとなる貯金残高一千五百億円（平成19年12月末現在）の大会を達成することができました。これもひとえに組合員の皆様はじめ関係各位のご協力の賜物と重ねて御礼申し上げます。

さて、国内経済は、昨年の夏場以降、景気の牽引役である輸出・生産動向に改善の動きが見られますが、米サププライム問題の影響により、十・十二月期以降は世界経済の成長減速が目立ち始めてきております。加えて、日本では改正建築基準法に伴う建築確認業務の混乱もあり、住宅着工の大幅減が当面の景気の下押し要因として作用し続けると思われます。一方、消費者物価は、昨年九月までは7ヶ月連続で前年比下落となつていますが、国際商品市況高騰の影響もあり、食料品・エネルギーを中心に値上げが本格化し始めていることから、再び前年比プラスに転じるものと予想されます。

内外の金融市場は、世界経済の減速懸念もあり、「株安・金利低下・円高」が進行しています。こうした情勢を受けて、日銀の追加利上げ時期は大幅に後ずれするものと思われれます。利上げの判断のためには、少なくとも米国内経済の調整に一定の目処が立つことが条件となってくる模様です。

国内農業については、WTO・EPA農業交渉の内容如何では、農業・農村に大きな影響を及ぼすことから、昨年六月に全国代表者集会を開催し、多様な農業が共存できるルール作りを訴えてきました。

また、八月初旬、農林水産省が発表した二〇〇六年度の食料自給率は三九%と、大きな衝撃を持って日本列島を駆け巡りました。三九%を逆に見ると六一%を輸入に頼っているということになります。食の六割以上を外国に依存しているということは、まさしく異常な事態です。食の自立なくして、国の自立などありえないわけでは、この数字はとも「先進国」を名乗れるものとはいえません。

昨年の当JA管内の園芸作物については、比較的天候にも恵まれ果実、野菜・花き等、総じて数量は少なかつたものの単価高の傾向にあり、販売高を伸ばしております。しかしながら原油市況の高騰により、暖房用燃料並びに関連製品の値上げによる施設園芸コストの増加が農家経済に大きな打撃となつて現れております。米についても、一俵一万五百円という仮渡金で、再生産できない価格では農業は成り立ちません。これまで国の農政に協力し、真摯に生産調整に取り組んできたことが報われないような政策であつては、納得できるものではありません。加えて、国民の「食」をめぐる状況が悪化しております。国民が健康で豊かな人間性を育むうえで、健全な食生活が重要であり、これを支える農業はもつとも重要な産業であります。こういった状況を深くアピールするため、昨年十一月二十六日に山形市七日町通りを組合員・農業関係者のみならず、山形市消費者連合会・生活協同組合共立社・協力企業からの協賛を得、千三百人規模の集会・街頭行進を実施しました。かつては、むしろ旗を掲げて米価要求をしてきたわけですが、これからは、広く市民から理解を得るべく、新しい形の農政運動を展開してまいります。

第3次中期経営刷新計画につきましては、十九年度が最終年度となり、取組み経過を充分検証し、精査しているところです。また昨年八月に、刷新プロジェクトを立ち上げ二十年度から二十四年度までの5か年にわたる、JAやまがたの中期刷新計画を策定しているところでもあります。今後、地区別座談会で組合員の皆様にご説明申し上げる予定になっております。

今年、「子年」にあたります。ねずみは頭の回転が速く、物事を俊敏に考えられると言われております。しかも集団行動が大変得意ですので、JAの組織力もねずみにあやかつて強固なものにしていききたいと思っております。

農協事業を取り巻く環境は相変わらず厳しいものがありますが、「地域とグッドコミュニケーション」をキャッチフレーズに、「安全」・「安心」な農畜産物の提供を基本に、組合員の負託と満足に応え信頼されるJAづくりを目指してまいります。さらに、経営の健全化・コンプライアンスの強化・事業計画の達成に役職員一体となり邁進する所存です。今後とも、組合員皆様の深いご理解と更なるご指導・ご協力を心よりお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。新春のごあいさつといたします。

平成二十年元旦

迎春

代表理事組合長	遠藤 芳雄
代表理事専務	長澤 豊
常務理事	佐藤 浩
常務理事	山川 昭
理事	田中 政弘
理事	小林 重弘
理事	小谷 馨
理事	遠藤 健一
理事	宮部 勝幸
理事	塩野 豊人
理事	高瀬 傳八
理事	石黒 忠司
理事	堀井 正敏
理事	新関 庄
理事	遠藤 寛
理事	尾形 昭一

理事	江口 勘四郎
理事	吉田 忠幸
理事	岡崎 政志
理事	浦山 榮一郎
理事	渡邊 富男
理事	板垣 平治郎
理事	北澤 久敏
理事	渡辺 新一
理事	岡崎 輝明
理事	板垣 政行
理事	城戸 正美
理事	渡辺 作十郎
代表理事	秋葉 真作
常勤監事	菊地 義弘
監事	鈴木 芳弘
監事	鈴木 澄夫
監事	武田 寛一
監事	山口 富哉
員外監事	古内 佑司
参事	渡辺 誠

佐藤 洋詩恵

Satou Yoshie

【新春特別対談】

今号の特集は、山形県の観光と農業にお詳しいお二人、観光カリスマの工藤順一氏と日本の宿 古窯の女将・佐藤洋詩恵さんをお招きしての新春特別対談です。山形の観光のこと、そして農業のこと。本音トークが炸裂し、楽しく実のある対談となりました！

——この度は山形の観光業界をリードするお二人に、山形の農業の活性化や山形産の農畜産物のファンづくりといった観点からお話していただくと思ってありますが、まず全国的に見て山形県、あるいは山形県の農畜産物の知名度というのはどんなものなのでしょうか。

工藤 オレは仕事柄、全国歩かせてもらってるけど、たまに「山形県でどの辺だっけ」って言われるのよ(笑)。特に九州とか四国とか南の方に行くとな、「山形県ってどこだっけ」とか「青森県の下だっけか」とか言

われることがあるんです。だからオレ、山形の話をする時は最初に「東北地方がこの辺だべ、そして山形県はこの辺でな」と話をして、それから山形市とか寒河江市がどこにあるか説明してね、そんなところから山形の話に入るんです。んだから山形というか山形県の知名度はぜんぜん高くないと思う。どうですか女将さん。

佐藤 そうですね、私も知名度というか山形の良さというのはまだまだ知られてないと思いますね。私どもの旅館に来られるお客様は、山形を

好きで、あるいは山形の食べ物が好きで来られるという方ももちろんいらっしゃるんですけど、全国的には山形はまだまだ地味な県なんだと思います。だってテレビでもよく〇〇県の県民性がどうだとかってやってたりするでしょ。すると山形県は必ず我慢強いとか働き者とか、そんな感じじゃないですか。けっして目立つ県ではありませんよね。

工藤 農畜産物だってそうだよ。山形のうまい食べ物って聞かれれば「サクランボ」って、これは全国の人がそう答えると思う。でもサクランボの他っていうと案外ないのね。リングゴは青森や長野の後ろに隠れてるし、ブドウも山梨とか岡山とかの後ろに隠れてる。デラウェアはJAやまがたさんの生産量が多いけど、山梨とか岡山に比べれば知名度という点で申すに比べてそんなに高くない。もちろん市場関係者には評価も高いし知られていますよ。でも一般にはね。牛肉にしたって米沢牛はメジャーだけど、山形牛は知名度、認知度は残念だけど米沢牛と比

べれば低い。ラ・フランスはやっぱり全国に知られてきて、メジャーになってきたところですよ。

佐藤 結局、一番というものが少ないですね。リングゴもブドウも生産量が多いし、品質も大変いい。でもサクランボやラ・フランスのように一番にならないと、知名度ってなかなか高くないんですよ。

工藤 それと、あまり売り込みが上手じゃないのね。生産量が全国一じゃないけど、アピールの仕方はあると思うのよ。例えばリングゴだったら、蜜の入っているリングゴがあるじゃないですか。ああいうのを前面に出して、うまさのアピールするとかね。テレビでリングゴをスパッと切って、蜜を見せて、そのうまさとか甘さをアピールしてね。青森のリングゴは赤くてうまさそうかも知れないけど、けっこう早く収穫しているのが多いから蜜が入ってないのよ。長野のだってあんまり蜜が入ってないから。オレは山形のリングゴくらい蜜が入っていてもうまいリングゴはないと思うんですよ。だから生産量で勝てないなら



観光カリスマ工藤事務所・代表

工藤 順一

Kudou Junichi



観光と農業はすごく近くて 一体的なものだと思っんです。 観光が伸びるには農業の力が 必要。農業も観光の力で 伸びると思うの。

うまさで勝負と。オレも農協職員だった頃、東京とか大阪のデパートで、リング売りをしたことがあるんです。寒河江の農協時代にね。その時は最初、山形のリングって人気があつてメジャーだと思つて行つたんですよ。なんでかつていつたら農協時代は市場出荷で、市場関係者から「いや、山形のリングってすごいよね」とか「山形のリングうまいね」とか言われてたもんだから、オレはでつきり山形のリングは人気あるんだと思つていたの。そしたら東京や大阪のデパートへ行つたら、山形のリングは売り場の端っこに置かれていてあんまり売れないのよ。真ん中のいい場所に置かれてるのは青森とか長野のリングでね。いや、ショックでしたよ。あとね、テレビや新聞で「山形のリングが東京で大人気」とか出てくることあるけど、あれは夕夕で配るわけだから、そりや人並ぶわね(笑)。

佐藤 わかるわかる。テレビや新聞は、そういう販つているような場面を放送するわけですものね。

工藤 そうなのよ、いいところばつかり出すけど、実際は違うのよね。それと、最近オレ思うんだけど、宮崎県の東国原知事がテレビにバンバン出て、宮崎の特産物をすごいアピールしているでしょ。あの宣伝力じゃなく、みんながまとまつて山形県全体でやつていくのがいいような気はします。工藤 そうすれば宣伝効果も上がつていいと思うんだけど。でも各市町村とか農協とか協力してブランドとか一本化してやれるかっていうと、難しいのね。いろいろ品質の問題とか、栽培の問題とか土壌条件の問題とか、あると思うけど…。でも県外の人にアピールするのなら、やつぱり、山形の。つていうのを大事にすべきだと思う。佐藤 そういう面では「山形セレクトション」はいいと思います。あれが始まつたの昨年ですか、一昨年ですか？ 実際にどのくらいの結果が上がつてるかわかりませんが、方向性としてはすばらしいと思います。でもね工藤さん、いま旅館業もそうだから申し上げるんですが、山形県でまとまつて宣伝とかつていうと、行政におんぶしがちになるでしょ。そういうのはやつぱりダメですよ。いくら山形県として宣伝すべきとはいつても、それは行政やどこかの団体に頼るとか任せるといふことではなく、やはり自分たちで努力しないとけないと思っんです。私はよく女将の集まりでも、まず女将が勉強して努力しましょうなんって言つてるんですが、でも本当にそう思っんです。

工藤 いやそれは女将さん正しいよ。行政とか人に頼つちやだめ。任せつきりもダメ。山形県の観光でも農畜産物のPRでも、行政や団体もやらなきゃいけないけど、やつぱり個人個人ががんばらないとね。別に個人で宣伝しろつて言つてるんじゃないんですよ。ただ、米でも野菜でも果樹でも、一生懸命つくて自信ある作物なら、堂々と自信持つてすすめればいいんです。変な遠慮しないで、堂々と誇りを持つて自慢して

はすごいよね。いま宮崎産のものかなり売れてると思うよ。やつぱりPRは大事だよ。オレだつていろんなところに行くたんびに観光大使として山形県をPRしてるつ



プロフィール
1945年、山形市生まれ。JAさ
がえ西村山に在職中に「さくらん
ぼのオーナー制」や「バラ風呂」
の売り出しなど数々のユニークな
アイデアを形にして、「寒河江」
の名を全国にアピール。その功
績が認められ、2003年に「観光
カリスマ」として認定される。JA
を定年退職後は「観光カリスマ
工藤事務所」を設立し、全国を
股に掛け幅広い分野で活躍中。

プロフィール
山口県生まれ。東京女子大学文理
学部卒業と同時に日本航空に入社。
一年間同社に在勤中、地上職勤務
を経て、五ヶ月間の国際線乗務を経
験。1976年11月、山形県上ノ山
温泉「日本の宿古窯」代表取締役
社長佐藤信幸氏と結婚。現在、専
務取締役。家庭では、一男一女の
母。「女将」という仕事を新しい感覚
で受けとめ、「充実した日々を過ごし
ている」。現、やまがた女将会会長。

れば、それだけでも違つてくると思うから。

佐藤 それは本当にそうね。自分の仕事に誇りを持つつて大事なことだと思っますね。皆さんもちろん仕事に自信も誇りももちだと思っますけど、宣伝の第一歩はそれを恥ずかしがらないで出すことですよ。ね。

工藤 その通り。そしてね、自信と誇りを持つて農業やつてれば、夢やロマン、やり甲斐なども自然に生まれてくると思っんですよ。そうしたら自然に後継者も出てくる。あとは、若い後継者にあれダメとかこれダメとか頭ごなしに言わないで。若い人には



自信と誇りを持つて 農業をやれば、夢やロマン、 やり甲斐も生まれてくる。 そうしたら自然に後継者も 出てくるもんだと思っ。

ある程度好きにさせないと、夢もロマンもやり甲斐もなくなつてしまつから(笑)。

——古窯さんでは最近、地元の食材に注目されていると聞きました。どんな理由でどんな食材をお料理に使われたりしているのですか？

佐藤 私どもでももう30年くらい前から山形名物ということでも、煮を出して、1年中いつでも煮を味わつていただけられるようにしていますけど、10年ほど前からできるだけ地元のもの素材を使つたお料理で、特に県外からのお客様をもてなそう

もりなだけで。女将もそうでしょ。でももつとあの東国原知事みたいに話題にならないとダメよね。山形県の斎藤知事にもがらばつてもらいたいものだよね(笑)。

——県をはじめ観光団体も農協もけつして宣伝やアピールをやつていないわけではなと思っますが、何が足りないんでしょう。

工藤 オレが思うに山形はてんでばらばらなのよね。ソバでも牛肉でも何でもいんだけど、ソバなら村山とか大石田とかつて市町村単位で宣伝してて、それなりに知名度もある。でも山形のソバつていうと、イマイチ知名度高くないのね。同じように牛肉にしたつて米沢牛は全国ブランドだけ

ど、んじゃ山形牛がどうかつていうと比べれば知名度低いよね、残念だけど。他にも尾花沢牛だの飯豊牛だのつていっばいあり過ぎて、それぞれが宣伝しても効果が小さくて、PRになつてないべ。だからまあ米沢牛は一步抜き出てるからあれだけど、山形牛は山形牛で一本にしていこうにしないとオレはダメだと思っね。

佐藤 そうですね。私たちのように山形県内に住んでいる人にはそれでもいいんだけど、県外の人に対しては尾花沢牛とか飯豊牛とかいつてもわかりにくい。私も山形県の農畜産物を県外に売り込むなら、本当はそういうふうにご当地域で個別にやるん

とやつています。最近「悪戸いも」とか「金谷ごぼう」、それに「赤根ほうれんそう」とか伝統野菜も使わせていただきたいと思っています。

工藤 県内でも、古窯さんほど地元の素材を取り入れている旅館は少ないんじゃないですか。やつぱり地元の食材で特徴を出そうということ？

佐藤 一言で言えばそうですね。旅行で山形にいらつしやつたお客様は、やはり山形ならではの食べ物も期待されているし、そういう地元の食べ物を味わうというのは観光の大きな楽しみであると思っんです。そ

観光なのよ。

佐藤 山形には四季折々豊富な農作物があり、観光地として伸びる要素と私は思つてるんです。だからいま私ね、1年を通して山形で生産される農作物を調べて山形の年間の野菜カレンダーみたいなものを作つているの。それがちゃんとできたらメニューに反映させるべく献立を考えたり、仕入れを検討したりしていきたいと思っているんですよ。

工藤 それはいいね。地元で採れる旬の物を、たくさんメニューに取り入れるつていうことだね。そういうのつて、ありそうであるがなかなかないものね。そういうのが軌道に乗れば、農家は計画生産ができるし、旅館は計画仕入れができるし、両方いいんだよね。価格も安定するだろうし、双方にとつて強みになりますよ。そして農業と観光の結びつきが太くなれば、山形の農業も観光も面白くなるね。もつともつと山形の農家・農協と観光業界が深く結びつていってほしいね。

佐藤 お客様がいっぱい乗つた観光バスが通つたら、農家の人も「ああ、お客様だあ」つて喜ぶようになったらいいでしょうね。そんなふうにならないかしら。

工藤 いやそれは女将さんに掛かつてるんだべ(笑)。ぜひ成功して、山形の農業と観光の結びつきを太くしてよ。オレも協力できることは協力すつから。いやあいい話で締めくくられて、えがつたな。じゃあまずはこの辺で、今年もひとつよろしくお願ひしますね、女将さん。

佐藤 こちらこそ、今年もよろしくお願ひします。いろいろな面でもよい年になりますよう、協力しあつて参りましょう。本日はありがとうございました。

冬の味と香り漂う

「堀込せり」

山形の冬の味覚を代表する「堀込せり」は、地下水の豊富な山形市前明石地区（須川沿い）を中心に栽培され、鍋料理はもちろん、お浸し、胡麻和え、天ぷら、温かい蕎麦にかかせません。薬用効果もあり、風邪予防・咳止め、血液酸化防止効果、整腸効果があるといわれています。





01 JAやまがた 食の意味・意義・意識を考える・訴える 集会・街頭行進 「食を粗末にする国は滅びる」守ろう日本の食と農業を

- スローガン —
- 「健康な体と心を作る・地産地消の意味を市民と共に考えよう！」
- 「食料自給率向上を目指し、安全な農畜産物生産に取り組み意義を考えよう！」
- 「農地・水・環境を市民と連携し、農業が率先して守っていく意識を高めていこう！」
- 「農村地域を守り、豊かな日本型社会が定着できる農政改革を訴えていこう！」



●農業関係者と消費者が協力し、「食」そして「農業」を広く・深くアピール
11月26日、JAやまがたで「食の意味・意義・意識を考える・訴える」集会・街頭行進を行いました。「食を粗末にする国は滅びる」守ろう日本の食と農業をテーマに、組合員や行政関係、連合会、農業関係機関として消費者など約1,300名が参加しました。

●我が国発展のために農業を守っていくことを集会で再確認
街頭行進を前に、山形市山形国際ホテルで「食の意味・意義・意識を考える・訴える」集会が開催されました。主催者を代表して遠藤組合長は、農業を取り巻く環境は大変厳しい状況です。しかし、我が国の農業を守ることは、我が国が活力と魅力にあふれた国として発展し続けていくには不可欠。消費者のみなさんをはじめあらゆる人と協力し、地域一体となって今回の運動を広めていきたいと思います。」とあいさつ。最後にスローガン唱和を行い、参加者一同一致団結していました。

●約1,300名の参加者が街頭で「食」の意味・意義・意識を市民へ訴える
集会後参加者は、山形市十日町交差点から文翔館まで街頭行進を実施。スローガンを訴えながら、食の重要性を訴えるプラカードを掲げ勇壮に行進しました。同時に、山形市内4箇所で開催された試食米の配布や、山形市七日町のホットなる広場では「はえぬきのおにぎり」試食会も開催され、米の消費拡大に努めました。



02 上山市の「地産地消の日」にちなみ、市内22施設に地元産ラ・フランス400kgを無料配布！



上山市では11月11日の「地産地消の日」にちなみ、13日に地元産農産物を使った給食など地産地消にこだわった催しが行われました。これは上山市における地産地消の啓蒙や推進および食文化の伝承等を目的に、市内の保育園や小学校などを対象に開催されているもの。今回は上山市安心安全農産物供給対策協議会（高橋義典会長）が、市内の公的施設22施設にラ・フランス計400kgを無料配布し、給食時などに地元の名産の味を味わってもらいました。また学校給食等では一緒に地元西郷産の里芋を使用した里芋汁も提供され、みんな美味しく食べていました。

04 5回目となる金融窓口セールスコンクールが開催 審査の結果、作谷沢支店の渡邊大輔さんが見事一位に！



JAやまがた本店会議室で11月17日、金融窓口担当職員を対象にした窓口セールスコンクールが開催されました。これは地域の金融機関としてより質の高いサービスを提供し、顧客満足度向上と営業力強化を図ろうと開催しているもので、今年で5回目になります。参加者は当JAの山川常務をはじめとした6名の審査員を前に、明るい笑顔や挨拶といった基本動作から商品知識等の専門的なことまで幅広い項目で審査されました。その結果、作谷沢支店渡邊大輔さんが第1位に。2位には鈴川支店・大江靖予さん、3位には宮浦支店・山口亜紗美さんが入りました。

03 広域花き部会主催のフラワーアレンジメント研修会 今年は約45名の参加者があり、大盛況でした！



JAやまがた本店で11月17日、JAやまがた広域花き部会主催のフラワーアレンジメント研修会が開催されました。この研修会は、地域で盛んに花卉が栽培されていることを知ってもらい、身近に花のある生活を楽しんでもらおうと始まったもので、今年で3回目。この日は山形生花商組合の青年部員5名が、当JA管内で栽培された様々な生花を使ってアレンジメントを披露した後、実際に花の活け方を指導。参加者はその指導に耳を傾けながら、用意されたアルストロメリアやストックなど思い思いに花のアレンジメントを楽しんでいました。

05 金井小学校の5年生児童136名が米作り学習の一環で、カントリーエレベーターを見学



山形市立金井小学校の5年生児童136名が11月21日、山形市南志戸田にある山形地区カントリーエレベーターを見学に来ました。同校の5年生は今年、米作りについて学習しており、その一環として学校近くにあるカントリーエレベーターがどんな役割を果たしているか学ぼうというものです。当日は武田文五郎場長がカントリーエレベーターの役割や設備について説明した後、実際に高さ30mのサイロにも上って施設の大きさを体験してもらいました。質問コーナーでは、一日の生産量や水分調整方法などについての質問も飛び出し、みんな積極的に学んでいました。

4つのエリアから 旬の話題をお届けします



NAKAYAMA 中山町

12月1日

冬季日中常備消防隊・開所式 今年も町内の消防・防災を担い 8名の隊員による消防隊がスタート

中山町で34年に渡って続く「冬季日中常備消防隊」の開所式が12月1日、旭町地区にある中山町消防団第3分団第1部の詰め所前で行われ、同消防隊による冬季間の消防・防災活動がスタートしました。

この日の開所式には、6名の隊員と中山町の消防・防災関係者、そして宇津井弘治中山町長が出席。式典ではまず隊員に辞令が手渡され、その後、宇津井町長と中山町消防団の秋葉憲太郎団長が挨拶に立ち、隊員たちに訓辞を行いました。宇津井中山町長は隊員たちを前に、「中山町の冬季間の消防・防災を担う伝統ある消防隊として、任

務を全うしてほしい」と挨拶。また秋葉団長も「勤務中は消防隊員として、また勤務を離れても中山町消防団員の一人として消防・防災に努めてほしい」と隊員たちに期待を込めて激励しました。隊員たちはこの日から3月10日まで、日曜日と正月三が日を除いて交代制で勤務し、町内の消防・防災及び高齢者世帯の訪問活動などを行います。

なお、辞令を受けた隊員は以下の通り。隊長／佐藤貢一、隊員／細谷善一、秋葉広志、橋本治（以上長崎地区）、渡辺洋平、渡辺聡、今野勝敏、今田一功（以上豊田地区）



YAMANOBE 山辺町

12月14日
～23日

ニット館すだまり・年末冬の感謝祭 日頃のご愛顧に感謝を込めて！ 景品には地元産「こしひかり」も

山辺町のJR山辺駅前にある「ニット館すだまり」で12月14日～23日、「年末冬の感謝祭」が開催され、期間中多くのお客様で賑わいました。

「ニット館すだまり」は、観光案内所の「すだまり」と、山辺町内で生産されているニット製品を展示販売する「ニット館」が一緒になった施設。今回の感謝祭はそのニット館で開かれたもので、同館には午前中からニット製品目当てのお客様が途切れなく訪れ、気に入った製品を探しては3点、4点とまとめ買いしている姿が見られました。お買いあげの方にはプレゼントも用意され、金額に応じて山辺町名産の

「なっとうコンブ」や「うどん乾麺」、そして地元大寺産の「新米こしひかり」2kgなどが贈られました。また同館2階では、「山形ニットコレクション2008」（東京のラフォーレ原宿で11月に開催）で展示された最新のニット製品も披露。訪れた人たちは、洗練された最新デザインのニット製品に感嘆の声を上げながら見入っていました。

なおニット館では、常にたくさんのニット製品を展示販売していますが、その価格はデパート等で販売されているものと比べ3分の1程度とのこと。良い物が格安で購入できますので、皆さんもぜひ一度足をお運び下さい。



KAMINOYAMA 上市市

12月14日

蔵王ライザワールド・オープン スキーやスノボだけでなく、 楽しみいっぱいのライザへ、ぜひ！

上市市の蔵王坊平高原にある「蔵王ライザワールド」蔵王坊平開設スキー場のスキー場開きが12月14日に行われ、関係者が一堂に会してオープニングセレモニーが開催されました。この日は午前11時に関係者約80名がライザレストラン前に集合。冬山の安全を祈願する神事を執り行った後、蔵王坊平観光協議会の二戸昭三会長や上市市の横戸長兵衛市長など関係団体の代表らがテープカットを行い、スキーシーズンの開幕を祝いました。また恒例となっているプラカード滑走やくす玉割りも行われ、セレモニーに華を添えていました。

関係者の話によると、昨シーズンは暖冬・少雪の影響などもあり、来客数は見込みよりやや少ない約3万8000人ほど。今年はなんとかそれを盛り返し、4万人以上の来客を図りたいと頑張っているそうです。スキーやスノーボードだけでなく、昨年好評だった「カレッジ」や、リフト券とスキー＆ウェアレンタルをセットにした「手ぶらでスキー」などを継続。またスキースクールとリフト券をバックにしたプランを今年は新設して、誘客を図るそうです。皆さんも、樹氷原に一番近いスキー場へ、ぜひ足をお運び下さい。



YAMAGATA 山形市

11月30日～
1月27日

北大路魯山人と岡本太郎展 天才芸術家2人の“つながり”を テーマに、141の作品が一堂に！

「北大路魯山人と岡本太郎展」芸術家の出会いと挑戦」と題した企画展が、山形市大手町にある山形美術館で1月27日まで開催されています。この企画展は、山形新聞と山形放送が山形メディアタワーの完成を記念し、両社の8大事業として企画したもので、山形美術館とともに3者の主催。近代日本が生んだ希代の天才芸術家2人の作品を多数見られるとあって、11月30日の開幕以来、連日多くのファンで賑わっています。

今回の企画展の特徴は、2人の芸術家の作品を多数展示（展示総数141点）しているだけでなく、北大路魯山人と岡本太郎という2人の芸術家の「つながり」や、交流をひとつのテーマにして紹介しているところ。書家・陶芸家で美食家としても有名な北大路魯山人と、個性的な言動でも注目を集めた芸術家・岡本太郎の意外な結びつきは、作品を鑑賞する上でもより深い味わいをもたらしてくれるはず。期間中は関連イベントもあり、1月13日（日）には大久保義彦氏と赤坂憲雄氏の対談が予定されています（山形新聞への事前申込が必要）。また1月18日（金）はペアで入場の場合、入場料が半額になります。ぜひ皆さんでお出かけ下さい。

- 【山形市】
 - 2月上旬：山形旧暦初市
 - 2月中旬：山寺こけし雪だるま祭り
 - 2月下旬～4月上旬：山寺芭蕉記念館「特別展 雛人形の美」

- 【上市市】
 - 2/11(月)：カセ島
- 【山辺町】
 - 2月中旬：まんだらの里作谷沢雪の芸術祭
 - 2月中旬～4月上旬：山辺町ふるさと資料館ひな人形展

- 【中山町】
 - 2/3(日)：雪中カルタ大会
 - 2/20(水)：だんご木市

荒井さんのお家では毎年、正月の門松を物市さん自ら、竹の曲がりを吟味し作って供えています。今日はお孫さんとみなで初詣です。



山形市蔵王
荒井惣市さん、カチ子さん
悠美さん12才、悠希ちゃん1才

今月の表紙

理事会
だより

第11回
11月27日
開催

報告事項

- 企画管理部
 1. 組合員（出資金）加入調書について
 2. JAバンク基本方針に基づく「経営状況に関する事項の報告」について
- 共済部
 1. JA共済コンプライアンス点検結果について
- 営農経済部
 1. 青果物販売状況について
 2. 平成19年度米集荷状況について
 3. 平成19年度産米の仮精算金等の支払いについて
 4. ダンボール期中値上げに関わる価格対策について
- その他
 1. 平成19年10月末事業実績について

協議事項

- 第1号議案 高額・員外貸出金及び農協法第35条の2の第2項「役員の忠実義務」の貸付について
- 第2号議案 平成19年度JA全国監査機構財務諸表等監査に係る期中監査I改善指示書および改善対応策について
- 第3号議案 平成19年度上期定期監査個別改善意見に対する回答書について
- 第4号議案 育児休業等に関する規程の一部変更について
- 第5号議案 平成19年8月期半期開示について
- 第6号議案 固定資産の取得について
- 第7号議案 山形県信連の最終統合に伴う出資の引受について
- 第8号議案 山形県信連と農林中央金庫との最終統合に伴う契約の締結について
- 第9号議案 山形県信連と農林中央金庫との最終統合に伴う信用事業方法書の変更について
- 第10号議案 金融商品取引法施行に伴う規程類の制定およびみなし登録について

パズル？ 頭の体操
12月号の答えを発表！

12月号のクイズの答えは「ポインセチア」でした。当選者（3名へギフト券1,000円分）は発送をもってかえさせていただきます。

【読者の声】

◇干柿を作りました。昨年はカビが生えて悔しい思いをしましたが、今年は最高の出来になりそうです。健康

にも良いので食べるのが楽しみです。

(中山町長崎 Mさん)

◇毎号楽しみに待っています。12月号やまがた彩時季のイルミネーションがとてもきれいなので、夜に出かけてみようと思っています。

(山形市元木 Tさん)

◇農協との情報がとれて参考になります。「わが家のうまいもん」など即実行でき、実用的なので綴っています。

(上山市新町 Iさん)

1	ボ	ケ	ツ	13	カ	セ
			10	マ	12	ホ
2	ト	6	キ	14	チ	ヨ
		7	ソ	11	コ	18
3	シ	12	ト	15	ア	19
		8	ユ	ウ	ケ	16
4	イ	カ		17	ビ	ン
						20
						21
						22
						23

12月号の回答 A B C D E F
ポインセチア

パズル？
頭の体操

問題

二重マスの文字をA～Fの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

応募方法

左の記入例を参考に官製はがきでご応募下さい。正解者の中から抽選で3名の方にギフト券（1,000円）をプレゼント。締め切りは、1月16日（当日消印有効）です。

- ① 答え
- ② 当紙へのご意見やご要望、読者の声への一言
- ③ 住所・氏名
電話番号
(当紙の編集以外には使用いたしません)

990-8535
山形市旅籠町 一丁目12-35
JAやまがた
広報クイズ係行

どしどしご応募下さい。クイズはもちろん「読者の声」も募集しています。

「読者の声」あて先

- 住所 〒990-8535 山形市旅籠町一丁目12-35
- 電話 023-641-1213
- FAX 023-641-1471
- Eメール soumu@yamagata.or.jp

山形市新春農業講座

日時 平成20年1月17日(木) 午後1時30分～午後3時30分
場所 山形市農業研修センター
内容 講演
演題：「新たな市場開拓を―大海を越えた販売革命―」
～農産物輸出の先駆者に聞く～
講師：片山りんご株式会社 片山寿伸 代表取締役
対象者 農業従事者 農業関係機関
参加費 無料
主催 山形市、山形市農業振興協議会、社団法人山形市農業振興公社
共催 山形市農業委員会、山形市農業協同組合、山形農業協同組合
山形市認定農業者連絡協議会、山形市青年農業者会

JAやまがたブライダルフェア

貸衣裳 新作展示会 平成20年2月2日(土)・3日(日) 二日間
★2日(土)1日間、本店駐車場で「自動車ショー」同時開催中！★
●場所 山形市旅籠町1-12-35
JAやまがた本店 2F大ホール
●時間 午前10：00～午後4：00

新作をはじめとしたレンタル衣裳を展示。試着もできますので、ご家族・ご友人などお誘い合わせの上お気軽にお越し下さい。

成人式中振袖展示予約会も行っています

◇お問い合わせ◇
●ブライダルフェア
TEL.023-641-3121(内線687) 山形地区女性部 稲穂会
●自動車ショー
TEL.023-684-7040 JAやまがた総合車輛センター

新年あけましておめでとうございます
JAやまがた青果物販売協力会
【組合員の皆様と共に歩む協力会】

<p>東京千住青果株式会社</p> <p>代表取締役社長 武井喜一 市場コード 130710</p> <p>〒121-0836 東京都足立区入谷6-3-1 TEL/03(3857)7054(果)、(3857)7019(野) FAX/03(3857)5308(果)、(3857)8222(野)</p>	<p>東京青果株式会社</p> <p>代表取締役社長 川田一光 市場コード 130210</p> <p>〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1 TEL/03(5492)2050(果)、(5492)2150(野) FAX/03(5492)2405(果)、(5492)2410(野)</p>	<p>東京新宿ベジフル株式会社</p> <p>代表取締役社長 渡部 功 市場コード 130610</p> <p>〒169-0074 東京都新宿区北新宿4-2-1 TEL/03(5925)5650(果)、(5925)5631(野) FAX/03(5925)5658(果)、(5925)5637(野)</p>
<p>川崎中央青果株式会社</p> <p>代表取締役社長 本田宏行 市場コード 140310</p> <p>〒216-0012 神奈川県川崎市宮前区水沢1-1-1 A-1 TEL/044(975)2281(果)、(975)2291(野) FAX/044(975)2310(果・野)</p>	<p>東京多摩青果株式会社</p> <p>代表取締役社長 柏 武彦 市場コード 133210</p> <p>〒186-0011 東京都国立市谷保367 TEL/042(506)1133(果)、(506)1122(野) FAX/042(576)2161(果)、(506)2151(野)</p>	<p>株式会社 石巻青果</p> <p>代表取締役社長 近江恵一 市場コード 042110</p> <p>〒986-0853 宮城県石巻市門脇字元浦屋敷32-3 TEL/0225(94)2511(代) FAX/0225(94)3208(果・野)</p>
<p>横浜丸中青果株式会社</p> <p>代表取締役社長 鈴木邦之 市場コード 140110</p> <p>〒221-0054 神奈川県横浜市神奈川区山内町1-1 TEL/045(461)6165(果)、(461)6163(野) FAX/045(453)6769(果)、(461)6764(野)</p>	<p>東京シティ青果株式会社</p> <p>代表取締役社長 福重憲二 市場コード 130110</p> <p>〒104-0045 東京都中央区築地5-2-1 TEL/03(3549)9430(果)、(3549)9260(野) FAX/03(3549)9591(果)、(3549)9582(野)</p>	<p>山形丸果中央青果株式会社</p> <p>代表取締役社長 高橋壽志雄 市場コード 060120</p> <p>〒990-2161 山形県山形市大字漆山1420番地 TEL/023(686)3540(果)、(686)3530(野) FAX/023(686)6078(果・野)</p>
<p>京都青果合同株式会社</p> <p>代表取締役社長 内田 隆 市場コード 260110</p> <p>〒600-8847 京都府京都市下京区朱雀分木町市有地 TEL/075(315)8230(果) FAX/075(321)0394(果) http://www.kyoka.co.jp</p>	<p>金港青果株式会社</p> <p>代表取締役社長 大倉明博 市場コード 140120</p> <p>〒221-0053 神奈川県横浜市神奈川区橋本町1-1 TEL/045(459)3762(果)、(459)3734(野) FAX/045(459)3664(果)、(459)6970(野)</p>	<p>岐阜中央青果株式会社</p> <p>代表取締役社長 毛利久治 市場コード 210120</p> <p>〒500-8607 岐阜県岐阜市茜部新所2-5 TEL/058(272)3545(果)、(272)3540(野) FAX/058(273)8576(果・野)</p>
<p>大阪北部中央青果株式会社</p> <p>代表取締役社長 藤田 勲 市場コード 270310</p> <p>〒567-0853 大阪府茨木市宮島1-1-1 TEL/072(636)2862(果)、(636)2822(野) FAX/072(636)2806(果)</p>	<p>大阪中央青果株式会社</p> <p>代表取締役社長 中島康弘 市場コード 270120</p> <p>〒553-0005 大阪府大阪市福島区野田1-1-86 TEL/06(6469)6030 FAX/06(6469)6095 http://www.osaka-chusei.co.jp</p>	<p>仙台中央青果卸売株式会社</p> <p>代表取締役社長 安藤堅太郎 市場コード 040120</p> <p>〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-3-1 TEL/022(232)8536(果)、(232)8556(野) FAX/022(239)5747(果・野)</p>
<p>富山中央青果株式会社</p> <p>代表取締役社長 青木博二 市場コード 160110</p> <p>〒939-8212 富山県富山市掛尾町500 TEL/076(495)2142(果)、(495)2132(野) FAX/076(495)2170(果)、(495)2108(野)</p>	<p>名古屋青果株式会社</p> <p>代表取締役社長 吉田真太郎 市場コード 230110</p> <p>〒456-8688 愛知県名古屋市中熱田区川並町2-22 TEL/052(681)8872(果)、(681)8892(野) FAX/052(671)2633(果・野)</p>	<p>株式会社 平 果</p> <p>代表取締役社長 山名善也 市場コード 070220</p> <p>〒971-8139 福島県いわき市鹿島町鹿島1番地 TEL/0246(29)6238(果)、(29)6239(野) FAX/0246(29)6211(果・野)</p>